

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	エンジン整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年後期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	98. 8時限（期末試験を除く）		
担当教員名	廣石 泰大・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車のエンジン関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	二輪自動車のエンジン関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術の習得。		
テキスト	① 実習テキスト		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	ハーレーダビッドソン実習1	座学とエンジン単品教材を使用してシリンダ及びシリンダヘッドを分解する 特徴ある構造や構成部品名称の確認を行う	
第2回	ハーレーダビッドソン実習2	各部品の構造や機能を理解する 車両専用の工具及び特殊工具を使用して組立を行う	
第3回	冷却装置	水冷エンジンの冷却装置を車両より取外し、名称・構造・役割・経路の確認と温度の変化を確認する	
第4回	潤滑装置	潤滑系統の各構成部品の名称、構造、働き等を確認する エンジンオイルの役割についても学習する	
第5回	キャブレター オーバーホール1	VM式キャブレターの分解組立てを行い通路やジェット類の構造・作動を確認する	
第6回	キャブレター オーバーホール2	実車からVM式キャブレターを取外し分解、清掃、組立てを行い車両に装着しエンジンを始動する	
第7回	4サイクルエンジン オーバーホール	実車50cc 4サイクルエンジンのオーバーホールを行う ・エンジンの脱着作業 ・シリンダヘッド及びシリンダの脱着 ・クランクケースの分解組立て ・トランスミッション脱着 ・各部の清掃 ・搭載後、試運転を行う	
第8回			
第9回			
第10回			

第 11 回	定期点検	24ヶ月定期点検の作業項目把握と記録簿の記入の方法を習得する	
第 12 回		<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン、動力伝達装置、ステアリング装置、ブレーキ装置、足廻り、電気・保安装置の各項目を点検する ・上記点検作業の流れがスムーズに出来るようになること 	
第 13 回			
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第13回までの授業内容に関する実技試験	
	期末試験	第1回～第13回までの授業内容に関する実技試験	
到達目標	エンジンに付随する内容（燃料・冷却・潤滑）の基本内容の理解と、エンジンの構造学の復習を目標とする。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="margin-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="margin-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="margin-left: 40px;">60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		